

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年10月13日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長崎県佐世保市情報政策課	代表者名	久田 忠勝
担当者部署	情報政策課	連絡先電話番号	0956-24-1111
担当者役職	主任技師	担当者氏名	諸國 敬
住所	857-8585 長崎県佐世保市八幡町1番10号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	牛島 清豪
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体側の業務効率化に活用できるオープンデータ発信事例をご紹介いただきました。具体的内容:照会回答、情報公開請求に関連したデータをオープンデータ化する等、業務効率化に寄与する事例をご紹介いただきました。
アドバイザーへの要望事項	自治体の規模によって照会回答や情報公開請求の内容が異なるため、多くの活用事例から抜粋して10月23日に予定している講義へ向けた支援を引き続きお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年9月29日	10時20分	12時15分		115
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	オープンデータについて官民データ活用推進基本法では業務効率化に寄与できると説明しているが、実際にオープンデータの公開により自治体の業務効率化の面で、メリットが明確化できず、展開できていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	メリットの明確化による、継続的な事業推進活力の維持。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	業務効率化にいかせるオープンデータの種類について情報提供をいただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータを使用して業務効率化できる事務がある等、メリットが明確化できた。これにより、「メリットが不明確」という課題が解決した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	今後の事業推進の方向が見えた。※業務効率化をどのようなデータをオープンで他として充実させればよいのか理解した。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	事業を推進するにあたり、オープンデータの標準データセットがない場合、どのような形で公開を行うのか、新たな課題が明確化した。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講義は別途行う予定です。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	目標:継続可能な形で一つでも多くオープンデータを公開し続けられるような仕組みを市内に作る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

